

モニタリング結果報告書 (令和元年度)

1. 施設概要

施設名	スポーツ会館		
所在地	横浜市神奈川区三ツ沢西町3番1号		
サイトURL	http://www.sports-kanagawa.com/works/kaikan.php		
根拠条例	神奈川県立スポーツ会館条例		
設置目的(設置時期)	スポーツの振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与するため(昭和43年1月)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川県体育協会		
指定期間	H27.4.1～R2.3.31 (2015年) (2020年)	施設所管課 (事務所)	スポーツ課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>提案に基づく開館日の拡大や誰もが参加しやすい様々なスポーツ教室の開催等の取組を行った結果、利用者の満足度の評価がS評価となり、収支状況の評価はB評価、利用状況の評価はC評価となったことから令和元年度の3項目評価はB評価とした。主な理由は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために約1か月間臨時休館したことである。</p> <p>収支がマイナス傾向にあるが、施設・設備の老朽化に伴う修繕費・光熱水費の増が主な要因と考えられる。次期指定期間においては、県として、施設の状態を適宜確認しながら、適切に維持管理を行えるよう対応していく。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づく開館日の拡大(令和元年度314日開館)や、誰もが参加しやすい各種スポーツ教室、カルチャー教室の開催を通じて、利用者の拡大を図った。 また、維持管理業務についても、体育館、多目的室、会議室の利用者の怪我や事故防止を図るため、適切な指導やサポートを実施した。利用者が安全かつ安心して利用できる環境整備に注力するなど、常に利用者目線に立った施設運営を行い、事業計画書の内容どおりの取組を実施した。</p> <p>◆利用状況 利用者数が目標達成率78%となったため、C評価となった。利用件数では2,931件となり、前年度より378件減であり、利用者数は36,681人で前年より4,617人減であった。 利用件数・利用者数ともに減少した原因は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために約1か月間臨時休館とした影響が大きい。今後も引き続きホームページの充実や近隣住民・自治会等へ積極的な広報を行い、会議室や多目的室の個人利用の促進に向け、効果的な利用者サービスの向上に努め、利用人数の増加につなげたい。</p> <p>◆利用者の満足度 9月と2月に実施し、上位2段階の回答割合が97.5%となったため、S評価となった。回収率は、利用者に対するアンケート協力の呼び掛けに努めた結果、88.5%となった。</p> <p>◆収支状況 収支比率が89.62%となったため、B評価となった。 これは新型コロナウイルス感染症拡大防止のために約1か月間臨時休館となった影響が大きいと考えられる。また、経費節減には努めたものの人件費、光熱水費、修繕費等が当初予算に比べ増大した影響から、収支差額は2,425千円のマイナスとなった。</p> <p>◆苦情・要望等 アンケート調査等で施設の経年劣化に伴う空調機器の改善等に関する要望など、指定管理者に起因しない要望が寄せられた。職員による点検回数を増やしたり、簡易的な修繕や、清掃等適切な対応に努めた。</p> <p>◆事故・不祥事等 日常の施設点検業務を着実にを行い、安全な施設運営に努めた結果、事故や大きな怪我は発生しなかった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 なし</p>	
3項目評価	<p>S : 極めて良好 A : 良好 B : 一部改善が必要 C : 抜本的な改善が必要</p> <p>※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
B	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	該当なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	随時現場確認を実施 (月1回程度)	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
施設の維持・管理について	経年劣化による故障・修理の必要な箇所が増えているため、日常の施設点検業務を着実にを行い、安全な施設運営に努めた。	
年末年始、施設点検日（原則月1回）を除く、原則無休による開館日の拡大 ※条例に定める休館日：月曜日（休日を除く）、休日の翌日（土・日・休日を除く）、年末年始	年末年始、施設点検日を除いた日を開館した（314日開館）。 なお、台風19号及び新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響に伴い臨時休館とした。	
外部諸機関との連携	スポーツ教室・研修等は、スポーツドクター・大学教授・県内競技団体・日本体育協会公認スポーツ指導者・トレーナーの協力を得て実施した。 また、救急法講習会は、日本赤十字社神奈川県支部より指導者派遣等協力を得て開催した。	
人材育成（職員育成・研修）	利用者サービスの向上に資するため各種研修を実施した。 第1回 令和元年9月5日「かながわシェイクアウト」に参加し、避難経路等の確認を行った。 第2回 令和2年1月15日「新型インフルエンザ情報伝達訓練」に参加した。 その他、「ノロウイルス」・「新型コロナウイルス感染症」対策で、手洗い・消毒液の作り方、処理・消毒方法について職員全体で確認した。	

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
スポーツ教室の開催	硬式卓球 3期81名 ラージ卓球 3期49名 小学生卓球教室 3期24名 小学生卓球(夏期) 1期28名 ダンススポーツ 3期61名 幼児体操(2クラス) 3期66名 小学生体操教室 3期35名 幼児体操(夏休み) 1期9名 小学生体操(夏休み) 1期13名 ヘルシーヨーガ教室 3期61名 ビューティーヨーガ教室 3期29名 ビューティーヨーガ教室(夏期) 1期27名 ナイトヨーガ教室 3期55名 ナイトヨーガ教室(夏期) 1期24名 ジュニアテニス(3クラス) 3期109名 ジュニアテニス(夏休み)(3クラス) 1期 34名 親子英語リトミック教室 3期116名 英会話教室 3期36名 救急法講習会 3日10名 健康体力アップ教室 3期58名 ロコモチェック 2回61名
指導員養成・育成講習会の開催	トレーナー研修会 3日54名 スポーツに関する講演会 2日65名

5. 利用状況

評価	≪評価の目安≫ 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
C	

	前々年度	前年度	令和元年度
利用者数※	41,963	41,298	36,681
対前年度比		98.4%	88.8%
目標値	46,000	47,000	47,000
目標達成率	91.2%	87.9%	78.0%

目標値の設定根拠： 過去数年の間の利用者を参考に算定し決定

利用者数の算出方法（対象）： 団体は利用報告書に人数を記載
個人利用は利用申込書で人数を確認

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	年間2回 9月と2月に調査	協定で定めた年間2回を9月と翌年2月に実施した。結果として昨年と同程度の回答数を得ているが、引き続き利用者とのコミュニケーションを積極的に図っていききたい。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 施設管理に対する満足度について該当する印象に○をつけてください。

実施した調査の配布方法 窓口での配架・利用者に直接配布 回収数/配布数 301 / 340 = 88.5%

配布(サンプル)対象 スポーツ会館利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的 評価の回答数	76	197	7	0	280	
回答率	27.1%	70.4%	2.5%	0.0%		
前年度の 回答数	97	241	11	1	350	
前年度回答率	27.7%	68.9%	3.1%	0.3%		
回答率の 対前年度比	97.9%	102.2%	79.5%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	≪評価の目安≫ 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	18,313	2,535			20,848	20,848	0	
	決算	18,313	2,706			21,019	22,991	-1,972	91.42%
前年度	当初予算	18,261	2,570			20,831	20,831	0	
	決算	18,261	2,578			20,839	22,681	-1,842	91.88%
令和元年度	当初予算	18,593	2,606			21,199	21,199	0	
	決算	18,593	2,340			20,933	23,358	-2,425	89.62%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和元年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。